

# 2025年度『探究コラボゼミ』成果発表会を行いました

2025年度の「探究コラボゼミ」は、5校19名の高校生が参加し、4つのゼミに分かれて、10月より15回にわたって大学生と一緒に探究活動を行いました。

1月30日（金曜日）には、甲斐ゼミ、宮町・山内ゼミによる成果報告会が行われ、大分雄城台、大分舞鶴、大分豊府、大分の各高校から、先生方、生徒の皆さん計17名に来ていただき、発表を聴いていただきました。

宮町・山内ゼミでは、5つのグループによる研究発表が行われました。

- 1班：なぜオーバーツーリズムは起こるのか
- 2班：廃校に至るプロセスとその後の活用について
- 3班：東京一極集中の現状と課題
- 4班：高速道路の整備によって地域経済や人々の生活はどのように変化したのか
- 5班：地方高齢者の移動問題



発表はポスターセッションの形式で行われ、参加者から質問が出されて、活発な意見交換が行われました。

最後に大分雄城台高校の奥田校長先生にご講評をいただき、ゼミに参加した高校生に修了証書が渡されて、盛況のうちに終了しました。

## 発表会を聴いた高校の先生

「大学生と一緒に学ぶことで、鋭い視点や幅広い研究方法など、高校生にとって実り多い時間になると思いますので、今後も続けていただけたら幸いです」

## ゼミに参加した高校生

「自分にとってすごく良い経験となり、これからの生活に大きく生かすことができそうです。参加して良かったと思います」

## 発表会を聴いた高校生

「大学生や高校生のみなさんが質疑応答の際にすごく自分の考えを伝えていて、私も物事をそんなふうにとらえられるようになりたいなと思いました」

